

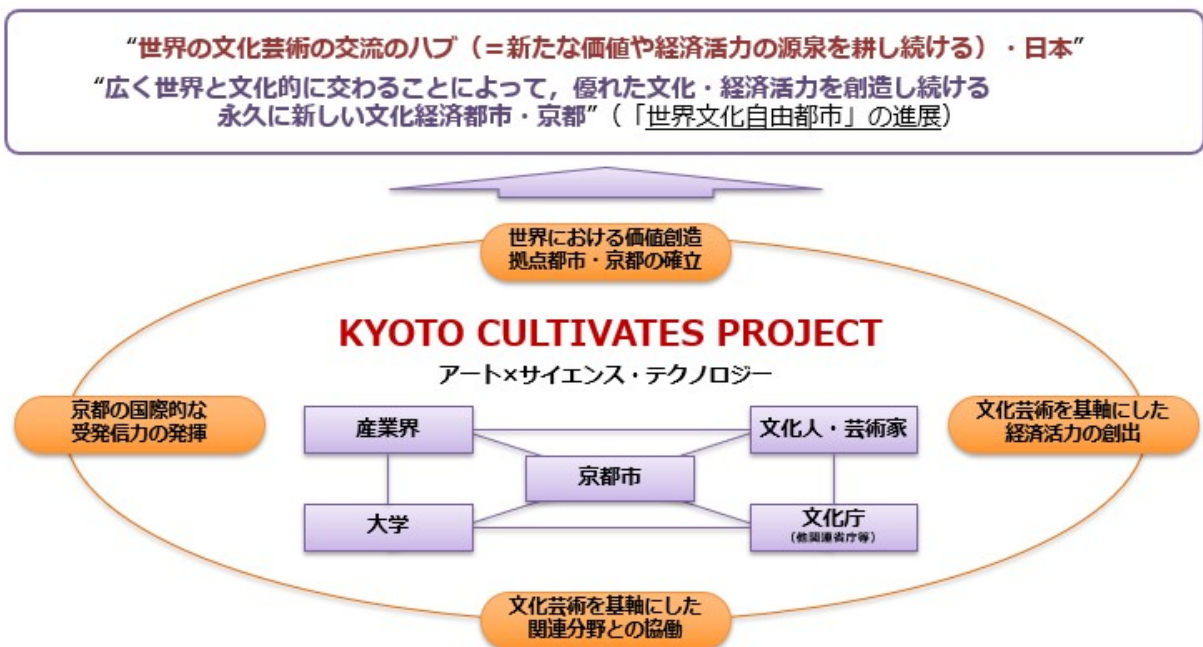
KYOTO CULTIVATES PROJECT について

1 京都プロジェクト (KYOTO CULTIVATES PROJECT) について

京都市では、オーストリア・リンツ「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」に着想を得て、京都・日本のアイデンティティ、オリジナリティを發揮し、文化芸術都市・京都の持続的な発展を、芸・産学官が連携して目指しています。

本プロジェクトは、文化芸術の新たな可能性・価値を問う、「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマとした新しい形態のフェスティバル「KYOTO STEAMー世界文化交流祭ー」を中心に、京都の資源を生かしながら、文化創造を担う次世代の人材育成、国際的ネットワーク構築などに取り組んでいます。

【プロジェクトを通じて目指す都市像】



2 プロジェクトの基本理念

産業革命依頼の人類の進歩は、地球温暖化や巨大災害により生存が脅かされ、宗教対立やテロなどにより人類の間での分断が進むなど、行き詰まりを見せています。また、文明の進歩が人類に幸福をもたらすという素朴な期待は、ITの発達により深刻なリスクと背中合わせであることが一般的な認識となり、未来への懐疑も深まっています。

こうした中で、長年にわたり多くの自然災害に見舞われ、幾多の戦乱に巻き込まれながらも、古代からの文化が途絶えることなく継承されている京都が、東洋的な自然と人間との共生や日本的な宗教的寛容という土壌の下で、新たな未来に向けて現在の営み及びその源泉となるものを「耕し、育み、磨くこと (CULTIVATES)」が現在、改めて求められています。

本プロジェクトを通じて、世界の未来に希望が持てる社会を、京都そして日本から構想し、発信します。

3 プロジェクト実施の背景、活用する京都の資源等

- ・ 1200年を超える歴史と伝統
- ・ 自然と人間が共生する日本文化発祥の地
- ・ 生活に息づく伝統的な芸能・工芸・環境
- ・ 伝統を尊び大切に保存する高い市民意識
- ・ 近代都市としての充実したインフラ
- ・ 新たな芸術文化を育む土壌としての潜在力
- ・ 伝統芸能・伝統工芸の歩み・進化
- ・ 日本文化のコンセプトを体感できる環境・景観・空間
- ・ 5,000万人超の観光客, 300万人超の外国人宿泊客, 世界からの京都観光に対する高い評価
- ・ 大学の集積, 教育・研究ネットワークの集積
- ・ 国際的な技術力を有する京都資本企業の存在, 企業・大学等による技術・科学の蓄積 など

4 プロジェクトの成果目標

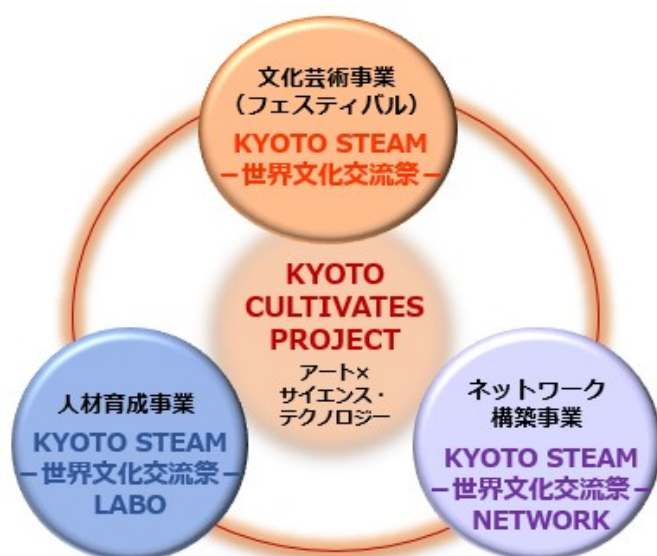


5 KYOTO STEAM—世界文化交流祭—について

1200年を超える歴史と伝統によって培われ、継承されてきた文化芸術における「知」と「感性」の蓄積を湛え、科学・技術の先端研究が盛んな京都。

「KYOTO STEAM—世界文化交流祭—」は、「KYOTO CULTIVATES PROJECT」の理念を体現し、京都賞が先駆的に示してきた科学・技術と芸術という三分野を掛け合わせることで、文化芸術の新たな可能性と価値をワールドワイドに問う事業です。アート×サイエンス・テクノロジーのフェスティバル開催を核として、「人材育成 (LABO)」、「ネットワーク構築 (NETWORK)」を合わせた三位一体の事業を展開します。

その際には、国際的な交流と共創のもとで新たな文化と経済の創出に向けたトライアルにより、国内外の人々に対する京都への関心の惹起と、継続的な関わりへの動機となり、日本ブランドの価値向上にも寄与します。



■ KYOTO STEAM—世界文化交流祭—

KYOTO CULTIVATES～未来に向けて耕し、育み、磨くこと、未来に希望が持てる社会を京都・日本から構想し発信すること、その象徴として、将来にわたり国際的に認知される「フェスティバル」を開催します。

■ 人材育成

KYOTO CULTIVATES を体現・牽引する、芸・産・学・公連携による STEAM のマネジメント人材、創造人材の育成機能 (LABO) の形成に取り組みます。

■ ネットワーク構築

KYOTO CULTIVATES の土壌を肥やす、文化と暮らし・経済・都市等との関わりを広く捉えた、多分野の連携・共創、社会変革を生み出す場 (NETWORK) を運営します。